



SAP Ariba 

# 機能の概要

外部システムからサプライヤの評価およびその他のプロセスを開始および更新するための Supplier Data API with Pagination の機能強化

Rashmi Shiva Prakash, SAP Ariba

一般提供予定: 2022 年 8 月

PUBLIC

# 機能の概要

導入の難易度 ● ハイタッチ  
対象エリア ● グローバル

## 説明: Supplier Data API with Pagination の機能強化

### 今までの課題

新しいモジュール式 [プロセスフレームワーク](#) の 2111 リリースにより、評価とその他のデータ収集アクティビティの両方でモジュール式質問事項を使用する際のお客様の柔軟性が向上しました。ただし、この機能を使用できるのは、ユーザーインターフェイスからのみでした。ビジネスプロセスの実現およびコンプライアンスについて新しい可能性を引き出すために、この機能を API から完全に使用できる柔軟性が求められていました。

### SAP Ariba で問題解決

この機能により、Supplier Data API with Pagination に 4 つのエンドポイントが導入され、顧客は外部システムから評価およびその他のプロセス (単一サプライヤ向け) を作成および更新できるようになります。

### 主なメリット

アプリケーションに直接ログインしなくても、評価およびその他のプロセスを作成したり更新したりすることができます。

エンドユーザー向けのサプライヤ管理ソリューション導入の設計時に創造性を発揮できるようになります。たとえば、プロセスをアプリケーション外部で開始されるようにする、導入の設計をサポートするために (ドキュメントに基づく) 関連データが取得/更新されるようにするなどの、独自のソリューション導入を実現することができます。

### 対象ソリューション

SAP Ariba Supplier Lifecycle and Performance

### 関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、**お客様が設定する必要があります。**

### 前提条件と制限事項

お客様のサイトでプロセスプロジェクト機能 (SM-16798) が有効化され、設定されている必要があります。

質問事項の状況が [提出待ち] または [承認待ち] の場合、プロセスプロジェクトの作成中に API クライアントアプリケーションで質問事項の更新を依頼することはできません。

# 機能の概要

## 説明: Supplier Data API with Pagination の機能強化

この機能により、Supplier Data API with Pagination に 4 つのエンドポイントが導入され、顧客は外部システムから評価およびその他のプロセス (単一サプライヤ向け) を作成および更新できるようになります。これにより、外部システムからサプライヤレコードにアクセスできるようになるため、評価およびその他のプロセスを作成または更新するために SAP Ariba Supplier Lifecycle and Performance にログインする必要がなくなります。

エンドポイントを使用する順序は以下のようになります。

1. サイトで定義されているプロセスの種類すべてを取得します。

Ex. GET `{{runtime_URL}}/supplierdatapagination/v4/processes/processTypes`

2. 特定のプロセスの種類に対する受入フォームを取得します。

Ex. GET `{{runtime_URL}}/supplierdatapagination/v4/processes/{processType}/templates`

3. 特定のプロセスの種類とマトリックス組み合わせのモジュール式質問事項すべての一覧を取得します。

Ex. POST `{{runtime_URL}}/supplierdatapagination/v4/processes/{processType}/modularQuestionnairesRequests`

4. 要求本文の詳細を指定してサプライヤのプロセスを開始します (次のスライドを参照)。

Ex. POST `{{runtime_URL}}/supplierdatapagination/v4/processes/processCreateRequests?realm=myRealm`

\*\*\* 要求本文および応答の例を含む完全な詳細については、コアドキュメントを参照してください。

# Supplier Data API with Pagination の機能強化

## API を使用したプロセス作成に関する注意点

同じマトリックス組み合わせ ([カテゴリ]、[地域]、および [部門]) を持つプロセスがない場合は、新しいプロセスが作成されます。

同じマトリックス組み合わせを持つプロセスがすでに存在する場合は、以下のようになります。

- 該当するプロセスについての決定が行われていない場合は、エラーが返されます。
- 該当するプロセスについての決定がすでに行われている場合は、既存のプロセスが更新されます。

プロセス開始者がプロセスオーナーでもある場合、要求本文の例 (ドキュメントを参照) で示されているように、この値は要求本文で渡されます。

*startProcess* エンドポイントでサイトに送信される JSON 要求では、以下の値を使用して、出力で返されるデータを指定します。

- *aribaLifeCycle*: 評価またはその他
- *templateId*
- *templateProcessId*
- *workspaceId*: プロジェクトのワークスペース ID
- *entityType*
- *expiryDetail*
- *smVendorId*
- *matrix*: 商品分類、地域、部門
- *currentProcessId*
- *questionnaireType*
- *externalSystemCorrelationId*: 個別の質問事項の内容の一部を表す一意の識別子
- *processCreationMessage*: サプライヤ連絡先およびプロジェクトチームメンバに送信される通知に含めるメッセージ

フォローをお願いします。



[www.sap.com/contactsap](http://www.sap.com/contactsap)

© 2022 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしに変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知に関しては、[www.sap.com/copyright](http://www.sap.com/copyright) をご覧ください。

THE BEST RUN

